

日 時	令和4年11月17日(木) 10:40~11:40 第17回経営会議
出席者	平原副市長、城副市長、伊地知副市長、大久保副市長、技監、政策局長、温暖化対策統括本部長、栄区長
欠席者	総務局長、財政局長、政策局政策調整担当理事、市民局長
議 題	1 「これからの緑の取組 [2024-2028]」(素案)について【環境創造局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の横浜みどりアップ計画 [2019-2023] は2023年度に計画期間が終了します。緑を次世代に引き継ぐためには、緑の保全や創造を長期的な視点を持ちながら継続的に取り組んでいく必要があることから、これからの緑の取組 [2024-2028] (素案) を策定します。 ・これからの緑の取組 [2024-2028] (素案) では、基本的な体系・枠組を継承しながら、緑の質を高め、その機能を発揮させるとともに、市民が緑の魅力を実感できる取組を強化します。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの成果や課題を踏まえ、以下の方向性で取組の継承・展開をはかる。 <ol style="list-style-type: none"> (1)「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」の理念や目標像、基本的な枠組みや主な取組は継承 (2) 保全・創出した緑の良好な育成、活用を進めて質を高め、緑のもつ多様な機能を効果的に発揮 (3) 市民・企業が緑の魅力を実感できるきっかけを広げ、緑との関わりにつなげる取組を強化 ・拡充または新規拡充する主な内容は、以下のものである。 <ol style="list-style-type: none"> (1) <u>取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む</u> <ol style="list-style-type: none"> ①良好な森の育成②民有樹林地維持管理助成の充実③森の多様な活用の推進 (2) <u>取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる</u> <ol style="list-style-type: none"> ①水田の保全に際し、地域の担い手への支援②農体験を広げる取組 ③市民等による主体的な地産地消の活動支援 (3) <u>取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる</u> <ol style="list-style-type: none"> ①地域緑のまちづくりの協定終了後の支援 ・上記内容及び総事業費について、第4回市会定例会常任委員会で報告し、その後素案に対する市民意見募集を実施する。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの緑の取組 [2024-2028] (素案) の方向性は了承。 ・一方で、財政ビジョンにおいて、一般会計が対応する借入金残高の縮減や、歳出改革による減債基金活用からの段階的な脱却を掲げており、それらを踏まえ事業費等の検討を進めていく必要がある。 <p>【結論】</p> <p><u>主な意見を踏まえ、これからの緑の取組 [2024-2028] (素案) を策定することで、局案の論点について了承。</u></p>